

DX推進を、業務に定着させるAI研修

生成AIを導入した。
でも、業務改善までは進んでいない。

AIを「使う」から、 AIで「仕事が回る」組織へ。

Claude Codeを活用し、業務の分解・試作・改善・定着までを実践するAI-DX研修です。

外注や新規採用に頼らず、既存メンバーが業務改善を進める力を育てます。

AIと人の役割分担で、業務フローを変革する

- 社内業務データ
- 業務を分解
- Claude Codeで試作**
- 人が確認・改善
- 改善手順として残す

AI活用が、個人利用で止まっていますか。

業務改革の課題

ChatGPTを導入しても、 会社の業務は自動では変わらない。

文章作成や議事録が早くなくても、現場には繰り返しの手作業が残ります。AIの導入だけでは、会社全体の仕事の流れは変わりません。

<p>個人利用で止まる 一部の担当者だけが使い、社内に広がらない。</p>	<p>手作業が残る 転記、集計、確認、レポート作成が毎月発生する。</p>	<p>改善が属人化する 詳しい人に依頼しないと、小さな改善も進まない。</p>	<p>外注待ちが続く 少し直したいだけでも、見積もり・依頼・確認が必要になる。</p>
--	--	--	--

目指す姿

AIを使う会社ではなく、AIで仕事が進む会社へ。

<p>Before</p> <ul style="list-style-type: none"> ChatGPTは使っているが、業務フローは変わらない Excel、スプレッドシート、SaaS出力の転記が残る 小さな改善も外注や詳しい人待ちになる AIに渡してよい業務の判断基準がない 	<p>After</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務手順をAIが読める形に分解できる AIが下書きし、人が確認する流れを作れる 月次レポートやチェック作業を小さく自動化できる 改善手順と判断基準がチームに残る
--	---

対象業務

開発部門だけでなく、 管理部門。業務部門の 改善にも使える。

Claude Codeは、エンジニアだけでなく、バックオフィスや営業・人事など幅広い業務で活用できる汎用性を備えています。

<p>経理</p> <ul style="list-style-type: none"> 月次レポート 請求書PDFチェック 請求明細の付け合わせ 	<p>総務</p> <ul style="list-style-type: none"> 社内申請 規程チェック 稟議書ドラフト
<p>人事</p> <ul style="list-style-type: none"> 勤怠異常値抽出 面談メモ整理 募集要項ドラフト 	<p>営業事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 見積書整備 顧客リスト重複チェック 問い合わせ分類

研修後の成果

研修後、社員が 作れるようになるもの。

ツールの使い方を学ぶだけでなく、実務で使える“成果物”をつくれる状態を目指します。研修後すぐに、日々の業務改善に取り組みます。

<p>月次レポート自動化 データ集計から図表作成までを自動化。</p>	<p>見積・請求まわりの補助 見積書や請求書の作成・チェックを効率化。</p>	<p>社内FAQ / ナレッジ検索 社内情報をまとめ、検索できる仕組みを構築。</p>
<p>営業リスト整形 顧客データの重複整理や名寄せを自動化。</p>	<p>小規模Webアプリ 社内向けの便利なツールを素早く開発。</p>	<p>業務手順のドキュメント化 手順書やマニュアルを構造化して整備。</p>

実施の流れ

自然言語で依頼し、 動く業務ツールにする。

Claude Code実践研修では、AIへの依頼、試作、確認、改善までを一連の流れで学びます。使い方を覚えるだけではなく、業務改善を社内で進めるための運用力まで身につけます。

- Request**
自然言語で依頼する
- Agent**
Claude Codeが構造を読み、実装・修正・検証する
- Output**
レポート画面、グラフ、管理画面などを試作する
- Review**
人が確認し、社内ルールに合わせて改善する

プログラム内容

14時間46分 / 23章。
使い方ではなく、運用力まで作る。

<p>Part 1：生成AI時代の開発パラダイム AI活用の前提、考え方、開発の変化を理解する。</p>
<p>Part 2：Claude Code実践 基本操作から実務演習まで、実際に手を動かして学ぶ。</p>
<p>Part 3：社内展開と運用 チーム開発、品質管理、ルール化まで見据えて定着させる。</p>

3部構成で、基礎理解から実践、社内展開まで段階的に学べます。

詳細カリキュラム

23章で、基礎理解から実践・社内展開まで学ぶ。 14時間46分 / 23章

生成AI時代の開発理解から、Claude Codeの基本操作、業務で使うための実践・品質管理まで。章単位で学びながら、現場で使える運用力を段階的に身につけます。

<p>Part 1：生成AI時代の開発パラダイムシフト 6章 / 108分</p> <ol style="list-style-type: none"> 開発のパラダイムシフト 実測① 仕様書からアプリを作成 実測② コードを書かずにアプリを作成 実測③ コード解析・移行・デバッグ Claude Code 登場前後の変化 生成AIプログラミング最新ツール 	<p>Part 2：Claude Code実践入門 9章 / 304分</p> <ol style="list-style-type: none"> CLIコマンドの基本操作 プロジェクト初期化とHello World スラッシュコマンド活用 実践とトラブルシューティング 自然言語によるファイル操作 AIが理解しやすいプロジェクト構成術 つまづきポイントと解決テクニック Claude Code活用Tips 総合演習 1時間でWebアプリ完成 	<p>Part 3：Claude Codeの発展的な使い方 8章 / 474分</p> <ol style="list-style-type: none"> CLAUDE.mdの効果的な使い方 カスタムコマンド活用法 Git / GitHub連携 MCPサーバー連携と外部サービス活用 高品質なコード生成のためのドキュメント作成術 Claude Codeでの品質管理とテスト セキュリティベストプラクティス Claude Codeによるチーム開発の変革
---	--	---

業務内容に合わせて、導入イメージをご案内します。

☑️ 自社業務で活用できるか相談する

監修者・実績

現場で使える改善の型を、 データ活用と教育の実務家が監修。

データ活用と人材育成を支援してきた実務家が、この研修プログラムを監修しています。

村上 智之 氏
Tomoyuki Murakami
株式会社データラーニング 代表取締役
データサイエンティスト / 教育事業統括

データサイエンティストとして分析業務、マーケティングオートメーションツールの開発、サービス企画に従事。
大手メーカーの分析チーム立ち上げ支援を経て、独立後は30社以上のデータ活用コンサルティングを展開。ビジネスパーソン向けの研修・育成プログラムも提供している。

著書

- 『データ×AI人材キャリア大全』翔泳社
- 『はたらきかたのデジタルシフト』技術評論社

支援実績

30 社以上
支援企業数

80 件以上
プロジェクト実績

専門領域

- データ分析基盤構築
- 需要予測
- レコメンド
- 分析チーム立ち上げ支援

料金・助成金

AI人材育成を、 現実的な投資として始める。

1名あたり20万円（税込）。動画視聴12ヶ月、修了証発行に対応したClaude Code実践研修です。人材開発支援助成金を活用することで、中小企業では最大75%の費用支援を受けられる可能性があります。

<p>通常料金 20万円 /名（税込）</p> <p>含まれる内容</p> <table border="1"> <tr> <td>動画視聴期間 12ヶ月</td> <td>eラーニング 対応</td> <td>修了証 発行</td> <td>14時間46分 /23章</td> </tr> </table>	動画視聴期間 12ヶ月	eラーニング 対応	修了証 発行	14時間46分 /23章	<p>助成金活用時の目安</p> <table border="1"> <tr> <td>中小企業</td> <td>最大 75% 助成の場合</td> <td>実質 5万円 /名/目安</td> </tr> <tr> <td>大企業</td> <td>最大 60% 助成の場合</td> <td>実質 8万円 /名/目安</td> </tr> </table>	中小企業	最大 75% 助成の場合	実質 5万円 /名/目安	大企業	最大 60% 助成の場合	実質 8万円 /名/目安
動画視聴期間 12ヶ月	eラーニング 対応	修了証 発行	14時間46分 /23章								
中小企業	最大 75% 助成の場合	実質 5万円 /名/目安									
大企業	最大 60% 助成の場合	実質 8万円 /名/目安									

- 助成金の支給可否・助成率は、企業規模、訓練計画の内容、申請時の制度要件、労働局の審査結果等により決定されます。
- 支給を保障するものではありません。
- 申請には、事前の訓練計画届の提出など所定の手続きが必要です。
- 制度の詳細は、厚生労働省の公式サイトをご確認ください。

☑️ 自社で助成金を活用できるか相談する >

FAQ

導入前のよくあるご質問

Q1	プログラミング初心者でも受講できますか A. はい、前提知識がなくとも受講できる構成です。基本操作から段階的に学べます。
Q2	管理部門でも活用できますか A. はい、総務・経理・人事・営業事務など、定型業務や発注業務の改善にも活用できます。
Q3	助成金は必ず使えますか A. いいえ、支給可否・助成率は企業規模、訓練計画、申請要件、労働局の審査結果により決まります。
Q4	自社の業務を題材にできますか A. はい、実務に近い業務を想定しながら、現場で使える改善の型を身につけます。
Q5	個人情報や機密情報はどう扱いますか A. 機密情報の取り扱いに配慮しながら学べるよう、運用上の注意事項やルール設計も扱います。
Q6	研修後に何が残りますか A. 業務改善の手順、AIへの依頼の型、判断基準、再利用できる成果物が社内に残ります。

まずは、自社業務で活用できるかご相談ください。

Claude Code実践研修が、自社の業務改善や内製化にどう活かせるか。対象業務や導入イメージに合わせてご案内します。

☑️ 自社業務で活用できるか相談する

研修で作れるものを見る